

| | | | | | | | |
|--|----|----|------|----|-----|--------------|----|
| 牛群能力データの簡易集計・表示システムの開発 | | | | | | | |
| 【要約】 <u>パーソナルコンピュータN5200</u> における <u>アプリケーションソフト</u> 上の機能を用いて、 <u>牛群検定情報</u> を処理する <u>簡易集計・表示システム</u> を開発した。 | | | | | | | |
| 畜産研究所・大家畜部・乳牛研究室 | | | | | 連絡先 | 092-925-5231 | |
| 部会名 | 畜産 | 専門 | 情報処理 | 対象 | 家畜類 | 分類 | 指導 |

〔背景・ねらい〕

家畜改良事業団から4半期毎にフロッピーディスクにより提供される牛群検定情報は、数値又は記号のみで構成されたデータ群であり、資料化されていないため、そのままの形では農家指導に利用し難い面がある。牛群検定組合で使用されているパーソナルコンピュータN5200（以下N5200）上で、このデータ群を分かりやすく集計、表示及びグラフ化を行うとともに、操作に不慣れなオペレータでも簡単に情報処理を行える簡易集計・表示システムを開発する。

〔成果の内容・特徴〕

①対象データ

家畜改良事業団より牛群検定情報センターに四半期毎に送付されてくるファイルの中で牛群能力に最も関連の深い305日補正乳量（以下補正乳量）及び乳脂率を対象とする。

②データの組替え等による新ファイルの作成

N5200上で起動するアプリケーションソフトLANFILE5により、処理目的に応じた形態にデータを並び替え、結合させた後、新たなファイルを生成する簡易な集計システムを作成した（図1）。

③グラフ表示

上記②で生成されたファイルをN5200上のアプリケーションソフトLANGRAPH5に読み込み目的に応じた形態のグラフを表示し、印刷する簡易な表示システムを作成した（図1）。

④処理操作は、上記の集計及び表示に対する操作手順をファイル上に記録しているため、各処理に応じたファイルを起動することにより自動的に集計、表示できる。

⑤この簡易集計・表示システムはパーソナルコンピュータN5200を対象機種とする。

〔成果の活用面・留意点〕

①開発した処理システムは県牛群検定情報センターで利用する。

②これらの自動ソフトウェアは、補正乳量及び乳脂率のデータ処理を行うものであり、順次処理対象を拡大する必要がある。

③情報センター以外で利用する場合は、LANFILE5、LANGRAPH5の準備が必要である。

[具体的データ]

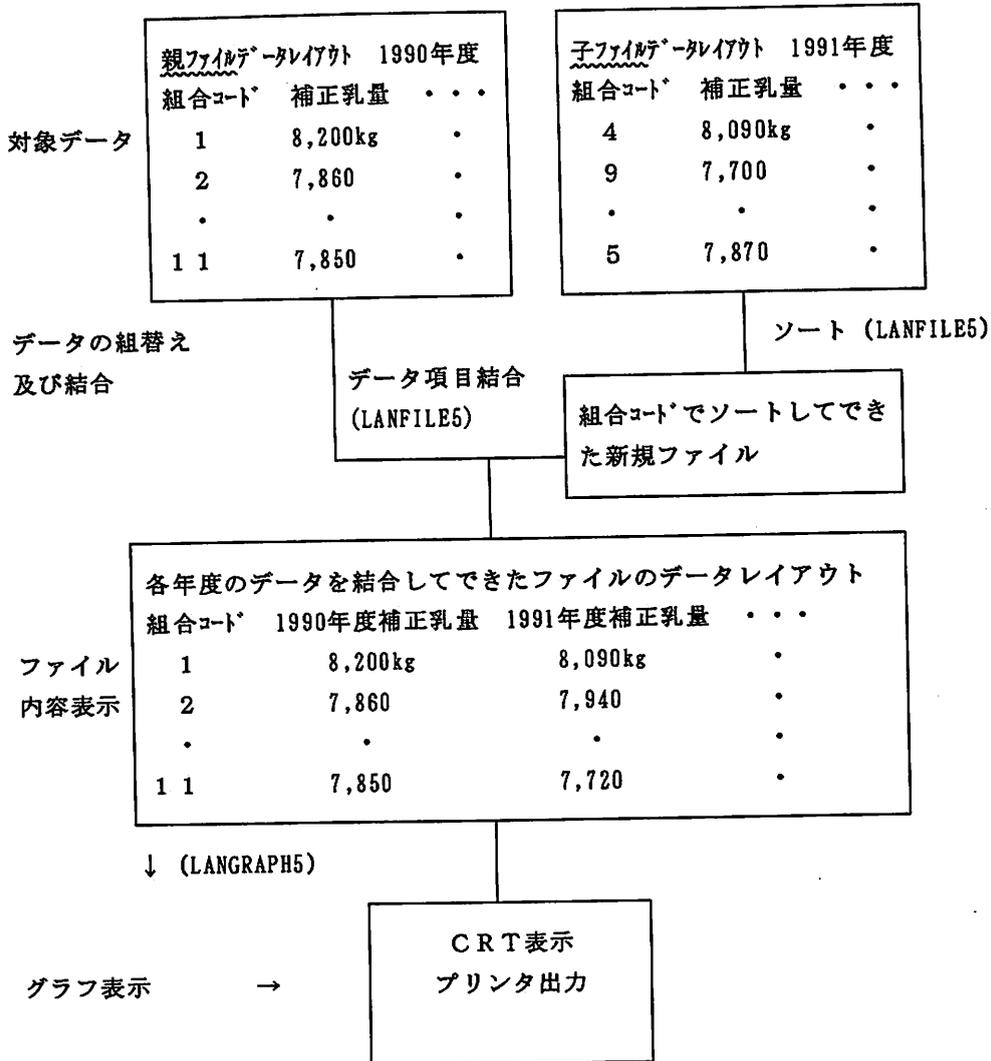


図1 検定組合における補正乳量の年次推移事例 (平成3～4年)

[その他]

研究課題名：乳検情報を活用した酪農家支援システムの開発

予算区分：経常

研究期間：平成4年度 (平成3～4年)

研究担当者：城内 仁、山下克之、家守紹光

発表論文等：